

# 花と緑のカレンダー

第14回花と緑の写真コンテスト 受賞作品



一般部門 グランプリ「桜」 高村 弘幸さん

【講評】 水と川と橋、中央及び後方には桜の素晴らしい風景で、パランスの良い構図で撮影されています。手前の桜に正確に焦点を合わせる技術は、撮影レベルの高さを感じ、春のあたたかさを感じる作品です。



一般部門 金賞「仲よく並んで学校へ」 久保田 雅代さん

【講評】 日常の何気ない子どもたちの朝の通学風景を、絵の具で描いたような自然に咲くピンク・白・濃い赤のコスモスを背景にしてうまくとらえています。後方から撮影した構成も素晴らしい作品です。



一般部門 金賞「初桜」 矢田郷 静香さん

【講評】 桜が咲く中で、子どもが笑顔になった瞬間のベストショットを撮影しています。父親と触れ合う子どもの表情がいきいきと表現され、ほほえましく喜ぶ家族の姿がわかりやすく伝わる作品です。



スナップ部門 グランプリ「フーツとね」 尾張 一博さん

【講評】 タンポポが咲く野原の中で、無邪気に遊ぶ子どもの自然な表情が撮影されており、ほのぼのとした様子が伝わる作品です。一面に咲くタンポポを背景に、子どもが見せる一瞬の姿を逃さず撮影した技術は素晴らしいです。



スナップ部門 金賞「黄色のシャワー」 浅川 和恵さん

【講評】 丁寧に維持・管理された庭のシンボルツリーであるキングサリが満開に咲いた初夏の香りが感じられる作品です。庭の落ち着いた雰囲気と共に、キングサリと庭全体の美しさも伝わります。



スナップ部門 金賞「雫と花」 富永 まゆみさん

【講評】 たくさんの水滴が、光を放つように、葉に乗る様子を絶好のタイミングで撮影した印象的な作品です。オレンジに咲く花もアクセントとなり、花と葉、水滴の綺麗さ、美しさが伝わります。

## 2020年

令和元年度は一般部門37作品、スナップ部門18作品の応募があり、各部門の上位入賞作品を掲載しました。

1月	2月	3月	4月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4	1	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29	29 30 31	26 27 28 29 30
5月	6月	7月	8月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4	1
3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
24 25 26 27 28 29 30	28 29 30	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29
9月	10月	11月	12月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31	29 30	27 28 29 30 31

このカレンダーは水と緑のふれあい基金の運用益を活用して発行しています。

